



安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

製品名	LP plus Buffer (BSC10M1B matching component)
製品コード	BSC10M1B03
会社名	バイオライフサイエンスジャパン株式会社
住所	〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目1-1 ポートアイランドビル10F 1005号室
電話番号	078-335-7475
ファックス番号	078-335-7485
緊急連絡電話番号	078-335-7475
推奨用途及び使用上の制限	研究用途、専門ユーザー

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

本製品は複数の構成試薬からなるキット製品です。危険有害性の要約にはキット製品としてのGHS分類結果を記載しています。各構成試薬成分の報は組成及び成分情報を参照ください。

2.2 GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H302: 急性毒性, 経口 (区分4)
H315: 皮膚腐食性/刺激性 (区分2)
H318: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 (区分1)
H335: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) (区分3), 気道刺激性
H373: 特定標的臓器毒性(反復ばく露), 経口 (区分2), 消化管
H400: 水生環境有害性 短期(急性) (区分1)
H410: 水生環境有害性 長期(慢性) (区分1)

注意書き
安全対策

P260 粉じんを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
P304 + P340 + P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P391 漏出物を回収すること。

保管

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

2.3 他の危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

LP plus Buffer

単一製品・混合物の区別

混合物

GHS分類

H302: 急性毒性, 経口 (区分4)
H315: 皮膚腐食性／刺激性 (区分2)
H318: 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 (区分1)
H335: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) (区分3), 気道刺激性
H373: 特定標的臓器毒性(反復ばく露), 経口 (区分2), 消化管
H400: 水生環境有害性 短期(急性) (区分1)
H410: 水生環境有害性 長期(慢性) (区分1)

危険物成分

成分	CAS 番号	濃度 (%)
CTAB	57-09-0	1 - 5

4. 応急措置

一般的なアドバイス

応急措置担当者は自分が暴露しないよう、適切な防護を行う。
この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。
ただちに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。
コンタクトレンズをはずす。

飲み込んだ場合

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

応急措置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項

情報なし
情報なし

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

炭素酸化物
窒素酸化物(NOx)
臭化水素ガス
可燃性。
蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。
高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる
火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

特有の消火方法

ガス／蒸気／ミストを水スプレージェットで抑える(除去する)。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

消火を行う者の保護

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	個人用保護具を使用すること。人を安全な場所に避難させること。 すべての着火源を取り除く。 十分な換気を確保する。安全な場所に避難する。 危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談する。
環境に対する注意事項	物質が排水施設に流れ込まないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと(セクション 7、10参照) 乾燥剤で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。ほこりを生じないようにすること。
7. 取扱い及び保管上の注意	
7.1 安全取扱いのための予防措置	注意事項は項目2.2を参照。
7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件	保管条件 密閉のこと。乾燥。
7.3 特定の最終用途	項目11に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない。
8. ばく露防止及び保護措置	
<u>CTAB(57-09-0)</u>	
8.1 管理パラメーター コンポーネント別 作業環境測定パラメータ	許容濃度が設定されている物質を含有していない。
8.2 曝露防止 適切な技術的管理	汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。
保護具	
眼／顔面の保護	NIOSH(US)またはEN 166(EU)などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。密着性の高い安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	本推奨は、当社発行の安全データシートに記載されている製品およびその指定の使用法のみ適用される。溶解、他の物質との混合、およびEN16523-1に記載の逸脱条件での使用については、CE認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet:www.kcl.de)
飛沫への接触	フルコンタクト 材質: ニトリルゴム 最小厚: 0.11 mm 破過時間: 480 min 試験物質: KCL 741 Dermatril® L
身体の保護 呼吸用保護具	材質: ニトリルゴム 最小厚: 0.11 mm 破過時間: 480 min 試験物質: KCL 741 Dermatril® L 保護衣 リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、N100型(US)またはP3型(EN 143)呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。NIOSH(US)またはCEN(EU)などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。
環境曝露の制御	物質が排水施設に流れ込まないようにする。
9. 物理的及び化学的性質	
9.1 基礎物理および化学特性の情報 <u>LP plus Buffer</u>	

外観 形状:	液体
色:	無色
臭い:	無臭
臭いのしきい(閾)値:	データなし
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
蒸発速度:	データなし
燃焼性(固体、気体):	データなし
引火上限/下限または爆発限界:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重:	データなし
水溶性:	データなし
n-オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
粘度:	データなし
爆発特性:	データなし
酸化特性:	データなし

9.2 その他の安全情報

データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

推奨保管及び取扱においては安定と考えられる。

10.2 化学的安定性

推奨保管及び取扱においては安定と考えられる。

10.3 危険有害反応可能性

次と激しく反応: 強酸化剤

注意! 亜硝酸塩、硝酸塩、硝酸にふれるとニトロソアミン遊離のおそれ!

10.4 避けるべき条件

強い熱

10.5 混触危険物質

データなし

10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

11. 有害性情報

CTAB(57-09-0)として

11.1 毒性情報

急性毒性

LD50 経口 - ラット - メス - 1,550 mg/kg(OECD 試験ガイドライン 401)

備考: (類似製品と同様)

値は以下の物質と同様に得られる。セトリモニウム クロリド

吸入: データなし

LD50 経皮 - ウサギ - オスおよびメス - 2,150 mg/kg

備考: (類似製品と同様)

(ECHA)

値は以下の物質と同様に得られる。セトリモニウム クロリド

皮膚腐食性/刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 皮膚に刺激性 - 24 h (ECHA)

眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性

眼 - ウサギ

備考: 重篤な眼の損傷。

(OECD 試験ガイドライン 405)

備考: (類似製品と同様)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

マキシマイゼーション試験 - モルモット

結果: 陰性

(OECD 試験ガイドライン 406)

備考: 水溶液

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
誤えん有害性

吸入 - 呼吸器への刺激のおそれ。 - 呼吸器系
経口 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 - 消化管
データなし

11.2 追加情報

反復投与毒性 - ウサギ - オスおよびメス - 経皮 - 28 d - 最小毒性レベル - 10 mg/kg

備考: (類似製品と同様)

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 経口 - 28 d - 無毒性レベル - 100 mg/kg

備考: (水溶液として)

(ECHA)

RTECS: BQ7875000

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

12. 環境影響情報

CTAB(57-09-0)として

12.1 生態毒性

魚毒性

半静止試験 LC50 - *Danio rerio* (ゼブラフィッシュ) - 0.2 mg/l - 96 h
(OECD 試験ガイドライン 203)

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性

半静止試験 EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 0.037 mg/l - 48 h
(OECD 試験ガイドライン 202)

藻類に対する毒性

止水式試験 ErC50 - *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻) - 0.00411 mg/l - 72 h
(OECD 試験ガイドライン 201)

止水式試験 最大無影響濃度 - *Desmodesmus subspicatus* (緑藻) - 0.001 mg/l - 72 h
(OECD 試験ガイドライン 201)

微生物毒性

EC50 - 活性汚泥 - 19 mg/l
備考: (ECHA)

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性(慢性毒性)

最大無影響濃度 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 0.023 mg/l - 21 d
(OECD 試験ガイドライン 211)

12.2 残留性・分解性

生分解性

好気性 化学的酸素要求(量) - 曝露時間 11 d
結果: 100 % - 易分解性。
(OECD 試験ガイドライン 301E)

12.3 生体蓄積性

Cyprinus carpio (コイ) - 8 週
- 0.05 mg/l(セチルトリメチルアンモニウムブロミド)
生物濃縮因子(BCF): 407 - 741
分配係数 n -オクタノール/水により、生物への蓄積は予想されません。

12.4 土壌中の移動性

データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

12.6 内分泌かく乱性

データなし

12.7 他の有害影響

水生生物に非常に強い毒性。

オゾン層への有害性

非該当

データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の12項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

CTAB(57-09-0)

14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制):3077 IMDG (海上規制): 3077 IATA-DGR (航空規制): 3077

14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制): ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
(セチルトリメチルアンモニウムブロミド)

IMDG (海上規制): ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
(NCetyl-N'N'N-trimethylammonium bromide)

IATA-DGR (航空規制): Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s. (N-Cetyl-N'N'Ntrimethylammonium bromide)

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): 9 IMDG (海上規制): 9 IATA-DGR (航空規制): 9

14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): III IMDG (海上規制): III IATA-DGR (航空規制): III

14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当):該当 IATA-DGR (航空規制): 該当

14.6 特別の安全対策

なし

14.7 混触危険物質

なし

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

CTAB(57-09-0)

消防法: 危険物に該当しない。
毒物及び劇物取締法: 非該当
労働安全衛生法 非該当
特定化学物質障害予防規則: 非該当
有機溶剤中毒予防規則: 非該当
名称等を通知すべき危険物及び有害物:法第57条の2(施行令別表第9)

化学名	含有量 (%)	備考
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=ブロミド	>=90 - <=100	2025年4月1日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物:法第57条(施行令第18条)

化学名	備考
ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=ブロミド	2025年4月1日以降

化学物質排出把握管理促進法: 第2種指定化学物質(法第2条第3項、施行令第2条別表第2)(政令番号:2-69)
大気汚染防止法 非該当

16. その他の情報

注意:

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

すべての材料および混合物には未知の危険性が存在する可能性があります、注意して使用する必要があります。

本SDSは、新しい情報が入手可能になった場合、改訂されることがあります。